

チェコ音楽年/スメタナ生誕200年記念

Rok české hudby 2024 / Year of Czech music
200th Anniversary of Bedřich Smetana's Birth

「YEAR OF」
「CZECH」
「MUSIC」
「2024」

スメタナのオペラ『売られた花嫁』と

SMETANA'S OPERA "THE BARTERED BRIDE" AND A TRIBUTE TO THE GREAT MASTERS OF CZECH MUSIC

チェコ音楽の巨匠たちへのオマージュ

2024年 10月21日[月]

19時開演(18:30開場)

【会場】豊洲シビックセンターホール 5F

江東区豊洲2丁目2-18

東京メトロ有楽町線「豊洲」駅 7番出口より徒歩1分

【出演】ルドヴィート・カンタ(チェロ)/沢 由紀子(ピアノ)

メンサー 華子(ソプラノ)/安藤 英市(テノール)

扇田 泰子(トランペット)/出井 愛(ピアノ)

【チケット】一般:4,000円(当日:4,500円)

学生:2,500円

LINEでチケットのお申し込みを受付中!

右のラインのコードから公式アカウントを
友だち追加して、お申し込みください



PROGRAM

J.K.J.Neruda : *Trumpet concert Es dur*

JKJ.ネルーダ:トランペット協奏曲 変ホ長調 (Y.Ogida-Tp. Y.Sawa-Pf)

B.Smetana : *Opera "The Bartered Bride,"
Mařenka's Aria, Jeník's Aria, Duet of Mařenka and Jeník*

スメタナ:オペラ「売られた花嫁」より
マジェンカのアリア、イエニークのアリア、二人の二重唱
(H. Mensah-Sop. E.Ando-Ten. M. Dei-Pf)

L.Janáček : *A blown away leaf from On an Overgrown path I*

L.ヤナーチェク:草かげの小径にて第1集より 散りゆく落ち葉 (Y.Sawa-Pf)

A.Dvořák : *Silent woods*

A.ドヴォジャーク:森の静けさ

B. Martinů : *Variations on a Slovakian theme*

B.マルティヌー:スロバキア民謡による変奏曲

J.Pálánicek : *Choral Variations for Violoncello and Piano*

J.パーレニーチェク:チェロとピアノのためのコラル変奏曲
(L.Kanta-Vc. Y.Sawa-Pf)

《お問い合わせ、チケットのお申し込み》リブシエ音楽企画

e-mail : libusemusic@gmail.com

Tel : 090-9810-2934 / 090-9969-8622



《主催》リブシエ音楽企画 <Libusemusic> <https://libusemusic.com>

《後援》



Embassy of the Czech Republic
チェコ共和国大使館



チェコセンター
東京

日本チェコ協会/日本スロバキア協会

日本チェコ友好協会

チェコ倶楽部

国際マルティヌー協会日本支部
International Martinů Circle in Japan



『4』のつく年はスメタナをはじめとして、チェコの作曲家の生誕や没後に関わる事が多く、チェコ音楽年と言われ、2024年の今年も多くのチェコの作品による演奏会が国際的に開催されています。そして、今年にはスメタナ(Bedřich Smetana 1824-1884)の生誕200年(没後140年)。日本では鑑賞できる機会の少ないスメタナの九つのオペラから『売られた花嫁』の主演マゼンカと相手役イエニークのアリアと二人の二重唱を上演します。また、スメタナを含むチェコ音楽の4人の巨匠たち、ドヴォジャーク(Antonín Dvořák 1841-1904)、ヤナーチェク(Leoš Janáček 1854-1928)、マルティヌー(Bohuslav Martinů 1890-1959)の珠玉の作品に加え、二人の知られざる名作曲家、ネルーダ(Jan Křtitel Jiří Neruda c.1708-c.1780 古典派の作曲家、ヴァイオリニストとしても活躍)、パーレニーチェク(Josef Páleníček 1914-1991 マルティヌーとともにパリでルーセルに学び、ピアニストとしても国際的に活躍)の作品を取り上げます。どうぞご堪能ください。

PROFILE

ルドヴィート・カンタ Ludovít Kanta (チェロ)



スロヴァキア共和国出身。プラハ芸術アカデミー卒業。1977年H=O・ベートーヴェンコンクールにて優勝、1980年プラハの春国際音楽コンクールで第2位。スロヴァキア・フィルの第1ソロ・チェリストを経て1990年から2018年までO.E.金沢の首席チェロ奏者を務め、現在は名誉楽団員。ソロ、室内楽を中心に国内、ヨーロッパ各地で活動する一方、後進の指導や、コンクールの審査員などを務めるなど、活動の幅を広げている。2012年「GOLDEN PLAQUE」、18年「Goodwill Envoy」賞をスロヴァキア外務省より授与された。また、令和5年春の叙勲で在日スロヴァキア人として初めて旭日単光章を受章。

沢 由紀子 Yukiko Sawa (ピアノ)



武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。旧チェコスロヴァキア政府給費留学生として国立プラハ芸術アカデミーに留学、故J・パーレニーチェクに師事。2001年より定期的にドヴォジャークの大家、R.クヴァピルのレッスンを受けている。1994年より日本とチェコ両国の友好コンサートをテーマとして活動している。今までにプラハをはじめボヘミア、モラヴィア、シレジア地方やスロバキア国内でも演奏。2018年に、プラハに本部を置く国際マルティヌー協会の日本支部のプレジデントに任命される。2025年3月にチェコ国内で演奏予定。ヤナーチェクのピアノ作品集のCDをプラハにて録音。現在、聖徳大学講師。

メンサー 華子 Hanako Mensah (ソプラノ)



桐朋学園大学卒業。同研究生課程修了。特別奨学生としてローマの国際芸術アカデミーに学ぶ。千葉県文化振興財団主催公演、企画コンサート「フランスの風」「チェコ音楽祭」、「第九」ソプラノソロなど多様なステージで活躍。2014年ソロリサイタル開催。『皇帝ティトの慈悲』『コジ・ファン・トゥッテ』『フィガロの結婚』『ノルマ』『ラ・ボエーム』『イエヌーファ』他、多くのオペラにも出演。指導者、司会、台本作家としての評価も高く、自ら脚本を手掛けたオペラ「VS.シンデレラ」を2020年に都内で初演。二作目『歌麿の恋』を2024年に栃木市で初演予定。二期会会員。はなさきオペラ工房脚本家。

安藤 英市 Eiichi Ando (テノール)



桐朋学園大学卒業、同大学研究科3年修了。第42回毎日学生音楽コンクール東日本大会第3位。その後イタリアへ留M. アウグスティニ氏に師事。イタリア・ベルカントの技術を学ぶ。イタリアで数多くのオペラやコンサートに出演。帰国後は、ヴェルディやプッチーニのオペラを主に、主役として数多くのオペラ公演に出演。またカンツォーネ・ライブなども高評価を得ている。現在、朝日カルチャーセンター 横浜「ベルカント唱法で歌う」、九段下生涯学習館「千代田オペラ座」の講師も務めている。東京都神田にイル・テアトロ音楽院を設立。近年は指揮者、演出家としても活躍。

出井 愛 Mana Dei (ピアノ)



東京音楽大学ピアノ科卒業後、チェコ国立プラハ音楽院に留学し、ミハル・レゼック氏に師事。チェコ国内のコンサートに多数出演。近年では、チェコフィルのソリストらとデュオリサイタルを開催。在日チェコ大使館でのイベントや建国記念日等での演奏を行う。ソロ活動の他、映画挿入曲や、室内楽、伴奏ピアニストとしてもクラシックに限らず、多方面で活動している。テノール歌手の夫(出井則太郎)とチェコ音楽の普及を目的とした活動が日本経済新聞に取り上げられる。また、2023年からピアニストの妹(根本諒子)と姉妹Duoとして活動。1stピアノソロCD「子守唄」をリリース。

扇田 泰子 Yasuko Ogida (トランペット)



秋田県大館市出身。大館鳳鳴高校卒業後単身チェコへ渡り、チェコ国立プラハ音楽院、プラハ芸術アカデミーを首席で卒業。チェコ国内外で演奏者として活躍し、現地コンクールで数々の入賞を果たしている。これまでにM.ケイマル(チェコ・フィルハーモニー管弦楽団元首席奏者)、V.レイレク、J.ロウチェク各氏に師事。現在秋田県美郷町在住、子育ての傍ら「音楽事務所プリナルナ」を立ち上げ、トランペット奏者としての活動のほか、演奏・呼吸および脱力指導、チェコ語翻訳・通訳、演奏会企画など様々な業務を行う。ヤマハミュージックスクールトランペット講師。